

平成30年度

『みんなで創る内牧小学校』

～ 学校評価アンケート集計結果まとめ ～

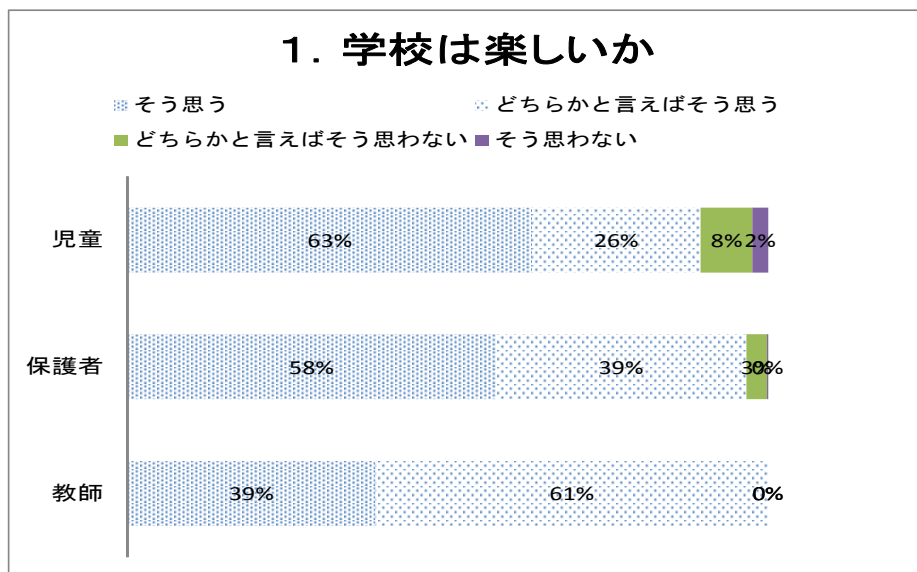


「早寝・早起き・朝ごはん運動」の活動から

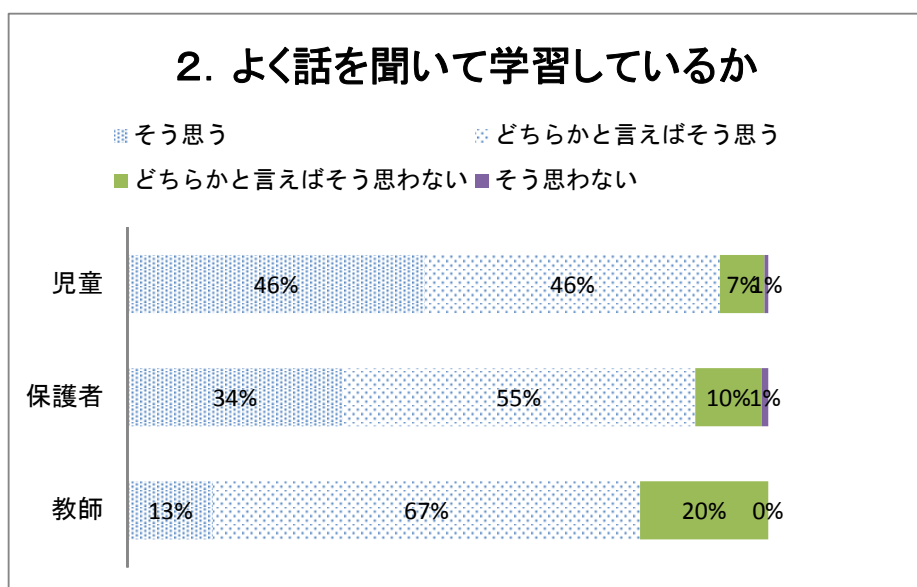
【調査の概要】

調査期間	平成30年10月26日（金）～平成30年11月22日（木）
調査対象	全児童 550名（回収率 96.7%）
	保護者 417家庭（回収率 91.1%）
	教職員 31名
	学校関係者（学校評議員） 5名

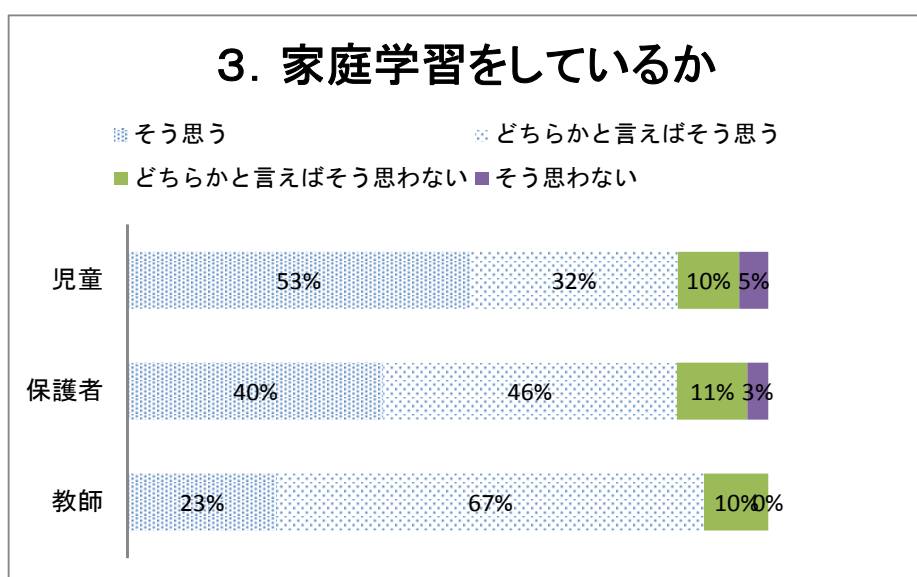
春日部市立内牧小学校



肯定的な回答が9割を超えています。今後も、児童が学ぶ楽しさを味わえる学校を目指して、教育活動の充実を図ります。

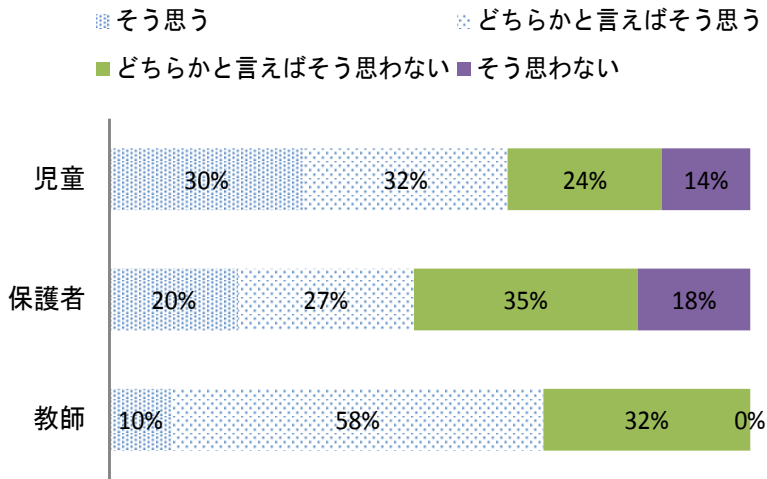


児童・保護者の回答は肯定的なものが多いです。また、教師の肯定的な回答が昨年度比10%増であり、学習規律の向上を感じています。



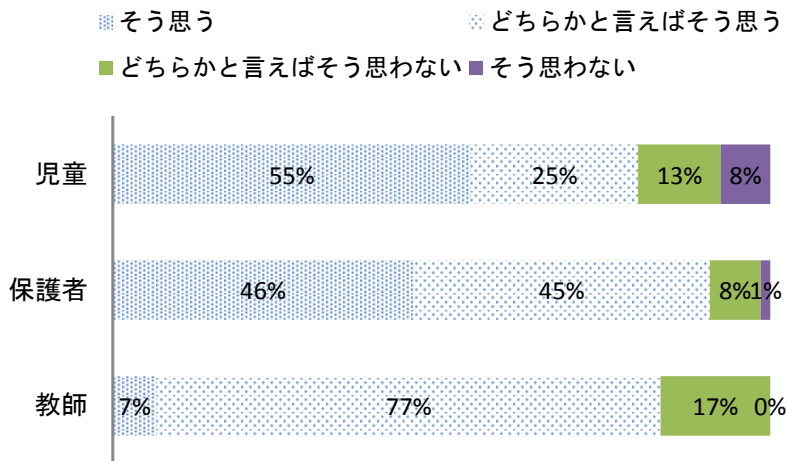
児童・保護者の回答は肯定的なものが多いです。また、教師の肯定的な回答が昨年度比8%増であり、家庭での協力を感謝しています。

4. 本を読んでいるか



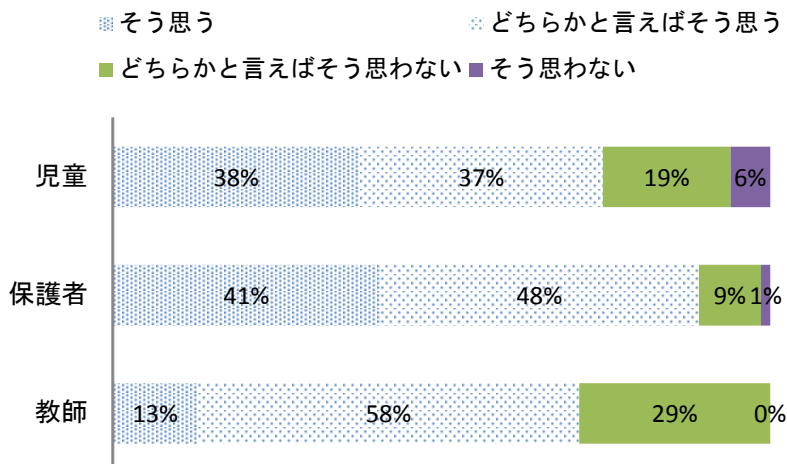
三者ともに、読書に取り組む姿勢に課題を感じているようです。今後も読書習慣の定着に向け啓発を続けてまいります。

5. 学校のことをお話しているか



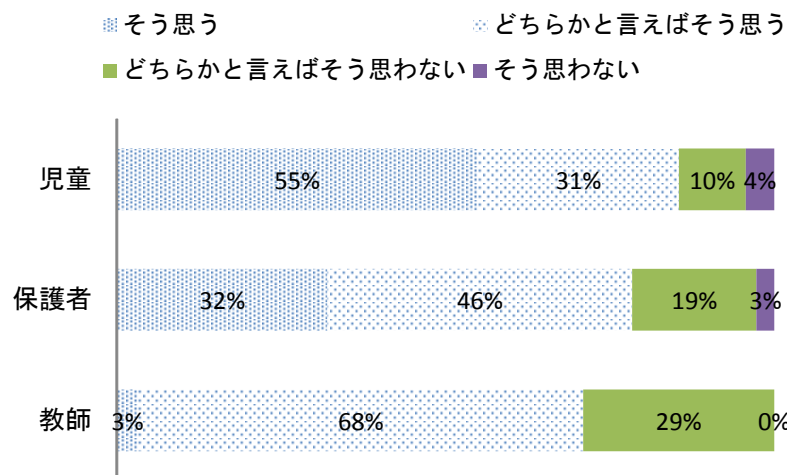
全体的に肯定的な回答が多かったです。今後も、親子の会話を通して、学校の教育活動について理解を深めたいと願います。

6. 明るいあいさつができていますか



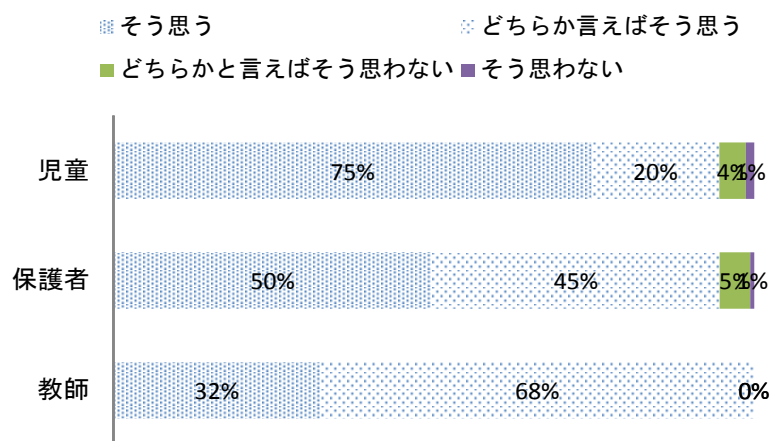
明るいあいさつの習慣化が少しずつ定着しております。今後も積極的にあいさつ運動を続けてまいります。

7. 場に応じた言葉使いができていますか



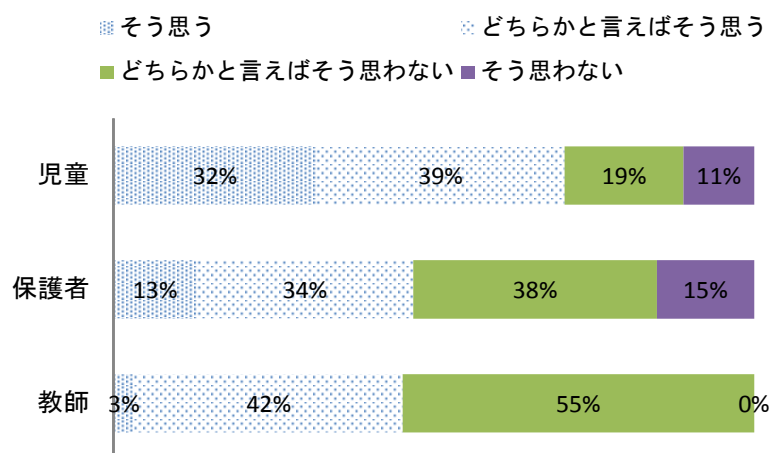
肯定的な回答は多いものの、三者の捉え方に差が見られました。今後、時と場に応じた言葉づかいについて指導していきます。

8. 仲良く生活しているか



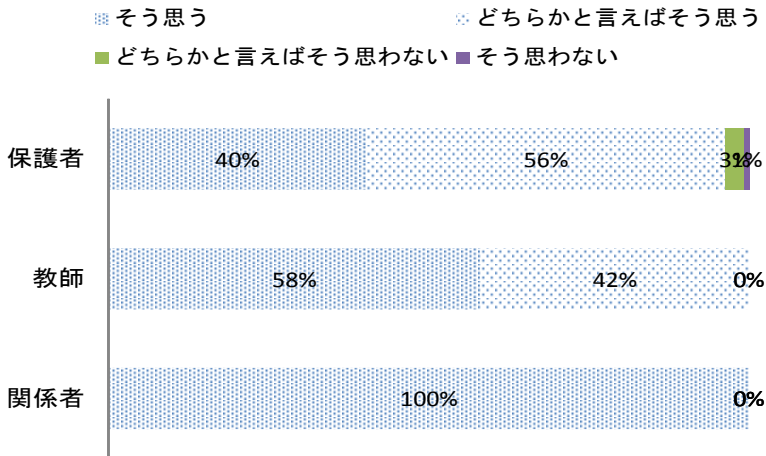
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。今後も、「心の教育」を充実させ、友達を大切にする児童を育成します。

9. 整理整頓が身についているか



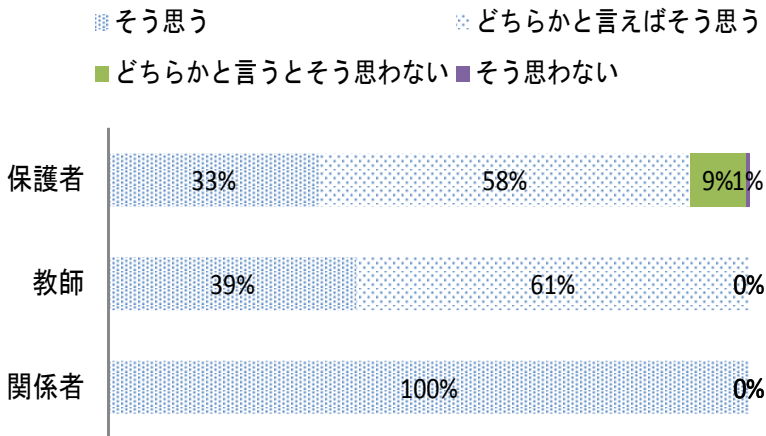
児童と保護者・教師の捉え方にずれが見られました。今後も家庭と連携して整理整頓に係る指導の充実と見届けを細やかに行っていきます。

1. 家庭・地域との連携



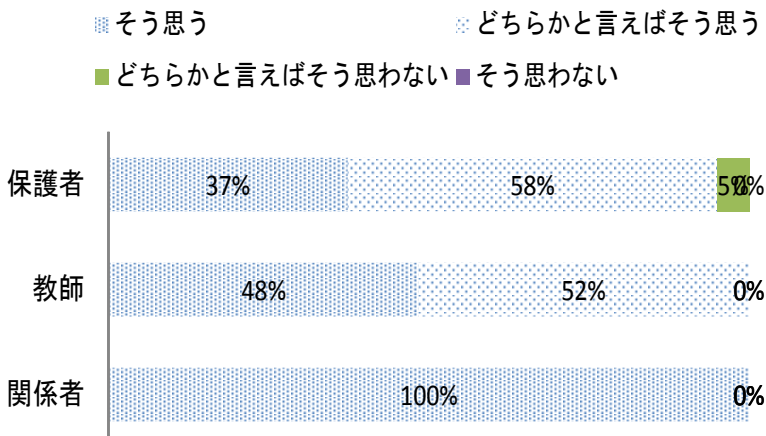
肯定的な回答が9割以上ありました。今後も、家庭や地域と連携を密にした取組を継続して行っていきます。

2. 生活指導の対応



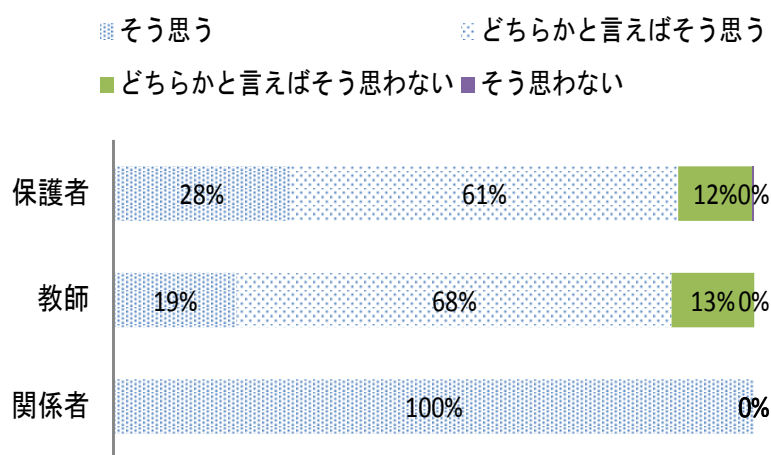
肯定的な回答が9割以上ありました。今後も学校と保護者が共通理解・共通行動がとれるよう学級懇談会、面談や相談の場を充実させていきます。

3. 学習指導法の工夫



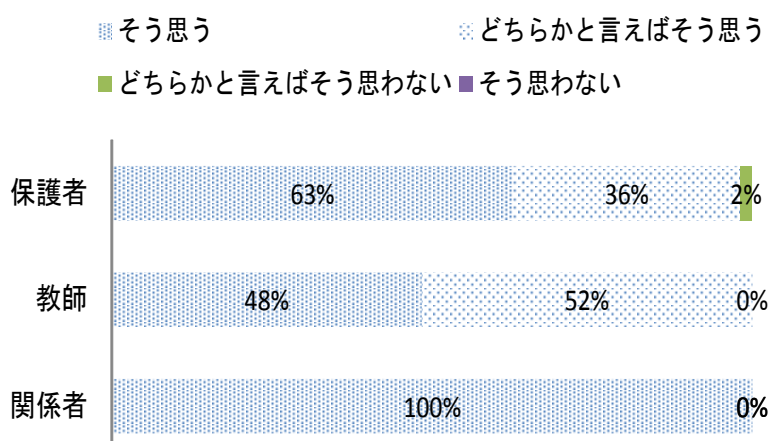
肯定的な回答が9割以上ありました。今後も、教職員一人一人が研修に努め、確かな学力の定着を目指していきます。

4. 時代の要請への取り組み



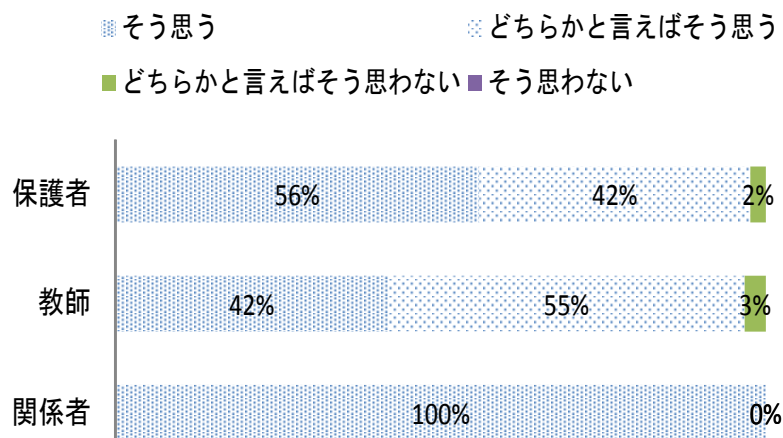
ICT機器の効果的活用や英語活動の充実など新学習指導要領（2020年度全面実施）の実現化のため具体的な方法を学び、指導の充実に努めます。

5. 体力づくり・健康づくり



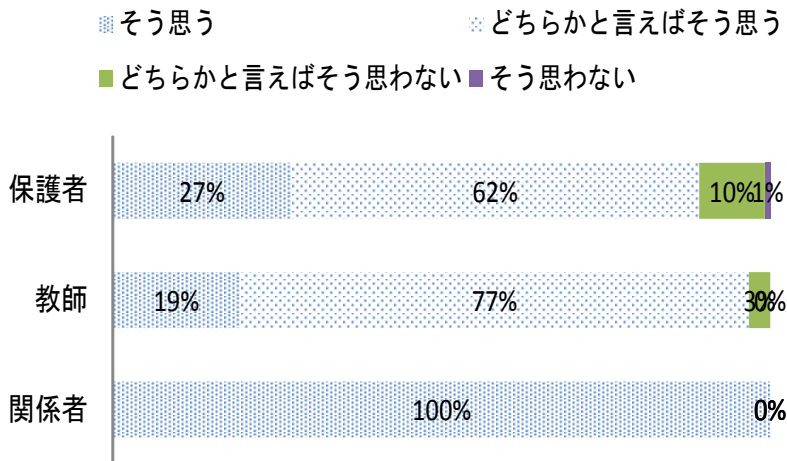
肯定的な意見が、ほぼ100%です。今後も、児童の体力の向上と健康づくりに係る指導を充実させていきます。

6. 地域力の活用



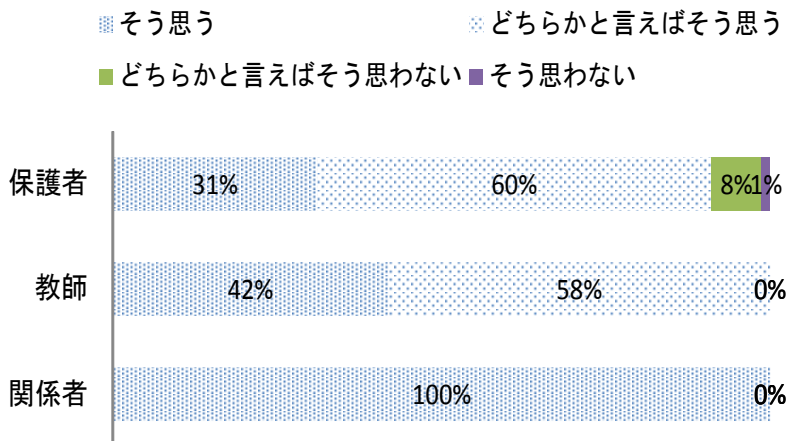
肯定的な意見が9割を超えています。本校の教育活動に地域をはじめ、保護者の皆様方が積極的に関わっていただいている成果だと思えます。

7. 豊かな心の育成



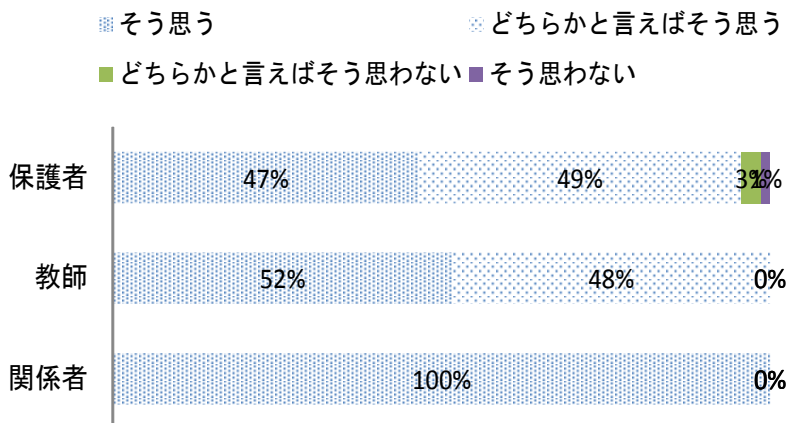
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かったです。心の教育については喫緊の課題であり、今後も全教育課程を通して道徳心の向上に努めていきます。

8. 子供への公平な評価の実施



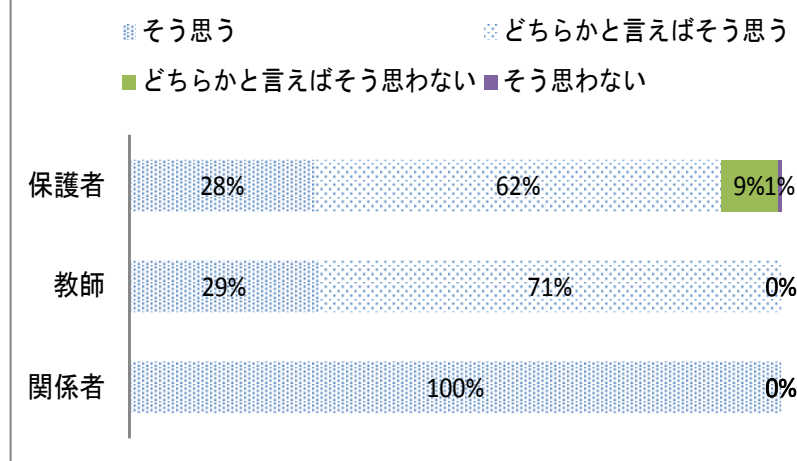
肯定的な回答が9割以上あります。今後も今以上に常に児童の様子を細やかに把握し、適切な励ましや声かけをしてまいります。

9. 子どもへの安全指導



保護者の方々の旗当番や「出来ることからやろう会」の皆さんのご支援により、児童の安全が担保されていると捉えています。

10. 教育環境の整備



肯定的な回答が9割を超えています。今後も、学校応援団ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、環境整備に努めてまいります。

【自由記述に係る今後の対応等について（一部要約）】

1 成果として

- 我が子の「出来ないこと」を、ただ、出来ないと決めつけるのではなく「どこまで出来るのか」「躓いている原因は何か」、「どこまで出来ているのか」を細かく見てくださりありがとうございます。先生が個性を大切にしてくださっているおかげで毎日楽しく登校できています。
- ミシンボランティアの参加可能日時を伺う手紙を配付してもらって助かりました。今後もお願いします。
- いわゆる「置き勉」についての対応、ありがとうございました。
- いつも子供達のためにご指導、様々な活動、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。

2 課題及び対応について

【児童に関わること】

- △子供達には表には現れにくい友だち同士の人間関係等があるようです。学校はどこまで把握できているか不安です。先生方は、一生懸命対応してくださっているので不満はありませんが。
- △登校指導時、子供達のあいさつが少なく、元気がないのが残念に思います。
- △自転車の乗り方について学校では「低学年は保護者と一緒に」となっていたと思いますが、一人で乗っているところを見かけます。各家庭の考えだとは思いますが気をつけてほしいと思います。

→対応など

子供達の人間関係は、普段から担任を中心に見届けておりますが「教師の前では見せない顔」「学校では見せない顔」があるのは事実です。そのためにも保護者と連携を図り、互いの強みを生かし協力し合って子供達を育てていくことが必要になります。これからも互いに協力し合い教育活動を進めてまいりましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

【教職員の対応について】

- △行事の日付が変わったときや追加になったときの対応が遅く、不快に感じます。
- △ミシンボランティアで参加したのですが、依頼の連絡が遅かったり先生の指導の意図がわからなかったりと困惑しました。
- △林間学校のブログの更新不具合の説明や事故などの説明会の在り方に不信を感じました。
- △先生の授業中の態度や言葉遣いなどがよくないと感じる場合があります。また、子供を傷

つけるような発言や罰はなくしてほしい。

△子供に不信感を与えるような指導（生徒指導上での人違い）は、やめてほしい。

△今年度は先生方の連携がとれていないように思います。

△学校からの手紙の内容の間違いや配付タイミングの遅さが昨年度より多いと思います。特に学校だよりと学年たよりの日程が違っていると大変困ります

→対応など

依頼文等の発送時期が遅かったことや内容の間違いがあったこと、お詫びいたします。

このようなことが起きないようにチェックを今まで以上に慎重に行ってまいります。また、教職員の児童に対する指導については研修を重ねてまいります。さらに、教職員相互および学年共通認識が出来るよう努めてまいります。

【内牧小の教育活動について】

△夏休みの宿題が親と一緒にないと出来ないものが多い気がします。また年2回の「アイデアおにぎり」「大根コンテスト」は気が重いです。回数が少ないと気持ちよく参加が出来るのですが。

△陸上大会や市内カルタ大会などよい成績を残せるような活動をしてほしい。

△朝マラソンは、暑い日に実施しなくてもよいと思います。

△保護者と先生の面談と同じように、子供と先生の「面談の日」もあるとよいと思います。

→対応など

今年度も本校の特色を生かした教育活動を実施してまいりました。諸活動の実施内容や時期については今後も検討してまいります。また、子供と教員の面談（相談）については日々の声かけや対話を大切にしております。

【その他】

△内牧小にも「通級教室」があると、通室へのハードルが下がり、利用する家庭も増えると思います。

△トイレをきれいにしてください。

△下校時に見守り隊（出来ることからやろう会の方）がいないときがあります。もう少し見てもらう回数が増えるとありがたい。

→対応など

通級教室の新設やトイレ改修については、春日部市教育委員会に相談し今後を見据えた対応を検討してまいります。下校時の見回りについては、ボランティア団体が行っておりますので回数を増やすことは出来ない場合があります。このような意見があったことはお伝えいたします。

最後に

本校の教育活動に対して、多大なる御理解・御協力いただきましてありがとうございます。教職員の指導に対する励ましのお言葉や学校行事、食育の取組を高く評価頂きましたこと、教職員一同感謝しております。今後もこれまでの取組をさらに精査し、子供達が輝く学校づくりを目ざし、教職員一人一人の資質能力の向上に努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。